

## 日 誌 (昭和34年8月)

## 【国内】

20日 ○本行、「接收貴金属などの処理に関する法律」に基づく再評価益を政府に納付

27日 ○政府、IMF増資資金の払込み（金による払込み分、62.5百万ドル）を実施

## 【海外】

1日 ○西ドイツブンデスバンク、最低準備制度を改正実施

15日 ○米政府、国際開発協会（第2世銀）創設に関する提案内容を発表

2日 ○イタリア・トルコ支払協定調印

19日 ○ラドクリフ委員会、金融組織の機能に関する報告書を発表

4日 ○トルコ、共同市場加入を申請

6日 ○コーエン委員会、物価、生産性および所得に関する報告書を発表

○マラヤ連邦、初の総選挙で与党連盟圧勝

8日 ○イタリア、資本移動の自由化（イタリア企業が外国会社の株式を取得することの自由化）を発表

21日 ○米アイゼンハワー大統領、ハワイの州昇格を宣言

22日 ○マラヤ連邦、ラーマン新内閣成立

10日 ○ニューヨーク株式市場、4年ぶりの暴落。ダウ工業30種平均、14ドル78セント下げ

24日 ○インドネシア、高利券切下げ、大口預金凍結、為替レート切下げなどの通貨措置を発表（25日から実施）

○イタリア、電気料金値上げ決定

26日 ○米アイゼンハワー大統領、訪欧の旅に出発

11日 ○豪州政府、1959～60年度予算を発表

○中共、第8回中央委員会全体会議に関する公報発表（昨年度生産実績および本年度計画引下げ）

○日・比賠償第4年度実施計画の合意成立

12日 ○米州機構外相会議、サンチャゴにて開催（18日まで）

27日 ○フランス銀行、資本金150億フランに増額

○パキスタン、物価統制緩和